

平成 年 月 日

## 平成17年度教育研究業績書

氏名 足立広明

最終学歴	1990年3月同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程後単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	日本西洋史学会、西洋史研究会、キリスト教史学会、日本ビザンツ史学会、古代史研究会、日本オリエント学会、日本西洋古典学会、地中海学会、文化史学会(評議員)
現在の専門分野	西洋史（地中海古代末期社会史）
研究課題	古代末期地中海世界の社会・文化変容を、キリスト教修道制の誕生から考察する。とくに近年は女性聖人と巡礼について研究を深めている。

### 【研究上の特記事項】

国際学会における発表3回（①1999年、アメリカ・アトランタにおける古代末期専門学会シフティング・フロンティアーズにて；②2001年、パリ、コレージュ・ド・フランスにおける国際ビザンツ学会にて；③2005年3月、東京、国際宗教史学会にて）

### 【教育上の特記事項】

---

---

---

### 【社会的活動】

---

---

---

### 【学内活動】（学内職歴を含む）

---

---

---

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要
-------------	-----------------	---------------	-------------------------	----

(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学術論文)				
1 Asceticism and Women's Freedom in Christian Late Antiquity: Some Aspects of Thecla Cults and Egeria's Journey	単	2006年3月	Orient, XLI	これまで日本語で発表してき古代末期女性聖人と巡礼に関する研究を英語でまとめた。61–90頁。
2 Peter Brown, <i>Authority and the Sacred: Aspects of the Christianization of the Roman Empire</i> , Cambridge University Press, 1995.	単	2005年12月	『奈良史学』23号	プリンストン大学教授ピーター・ブラウンの同書に関する書評。75–86頁。
3				
4				
5				
(学会発表)				
歴史学研究会合同部会「ギリシア文化の伝播と受容」における竹部隆昌報告への批判	単	2005年5月	2005年度歴史学研究会大会	竹部報告「10世紀の西方とビザンツ文化」への批評。
2 キリスト教「の」迫害	単	2005年11月	2005年度西洋史研究会大会	ピーター・ブラウンの研究に基づく、古代末期における、キリスト教サイドからの異教への迫害についての報告。
3				
4				
5				
(その他)				
1 「竹部隆昌：『10世紀の西方とビザンツ』報告批判」		2005年11月	『歴史学研究』809号増刊号	上記竹部報告批判の掲載分。181頁。
2 『古代史年報』第4号		2005年3月	同志社大学文学部中井研究室	同研究室発行の同雑誌の編集および編集後記。
3				
4				
5				